

見つけよう  
対策しよう

# 職場の危険箇所



今回のトピックス



## 増えています！危険な業務災害

**近頃、業務中の事故やケガが頻発しています。**ビルメンテナンス業における業務災害は、被災者の年齢別にみると**60歳以上が6割**、災害種別にみると『**転倒**』が**5割にのぼる**という調査結果があります。当社においても、60歳以上の従業員さんが多く働いていますので、ちょっとした油断が業務災害につながってしまいます。

今回は、業務災害の事例を振り返りながら、**現場でできる危険箇所の発見と予防**について紹介します。



### ■ 事故事例紹介①：階段から転落し、全身を打撲

#### 【事故発生の経緯と内容】

内階段の電灯スイッチの場所がわからなかったが、慣れもあり、消灯したまま清掃していたところ、転落した。



暗い中での作業で視界が悪かったことに加えて、踏面が狭く高さがあり、危険な形状の階段だった。



▲ 事故が起きた階段

### ■ 事故事例紹介②：つま先立ちから転倒し、頭部を裂傷

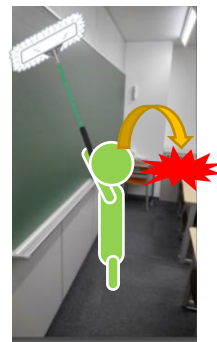
#### 【事故発生の経緯と内容】

黒板上部をダンモップで清掃しようとして、つま先立ちしていたところ、ランスを崩して仰向けに転倒。後方にあった机の角に右側頭部をぶつけた。



被災者の身長と清掃箇所に高さの差があり、「力が入らない」との理由でモップを延伸していなかった。

※つま先立ち作業の危険性を認識せず



▲ 事故の状況再現

### ■ 事故事例紹介③：帰宅中に乗用車に衝突され、頭部を殴打

#### 【事故発生の経緯と内容】

宿直明けの帰宅中、信号のない横断歩道を歩行していたところ、左側から徐行速度の車が衝突してきた。額を道路にぶつけていたがCTの結果、異常は無かった。



現場の視認性は良好だったが、加害者が一時停止を無視。



# ■ 作ってみよう！あなたの現場の“ヒヤリマップ”

ヒヤリマップとは、「ヒヤリハット事例を発生場所別にまとめた地図」のことをいいます。

いつ事故が起きてもおかしくない危険な場所(状態)を視覚的にわかりやすくし、事故防止に役立てます。

## ヒヤリマップの作り方

- ① 図面・地図を準備 …… 通勤経路の道路地図や、建物の図面や敷地図を用意しましょう。
- ② ヒヤリ・ハット情報を収集 …… どこで、どんな作業中に危険を感じたかを、書き込みましょう。
- ③ 危険箇所の整理 …… 危険箇所を写真に収め、どんなことに注意すべきかを整理し、危険を避けるためにはどのような対策が必要かをまとめましょう。
- ④ ヒヤリマップの共有 …… ヒヤリマップを控室などに掲示し、仲間に共有しましょう。  
※ 危険箇所への対策は続きます

## ヒヤリマップの作成例

※ 不明な点や、対策のために資機材の購入が必要な場合は、マネージャーに相談してください。

## まとめ

事故は起きる前に防ぐこと = 起こさないことが大切です。

2021年12月号の社内報では転倒防止についてのトピックスや、年末年始の無災害運動について紹介しているので、ぜひ読み返してみてください。

業務災害に遭われて辛い思いをする人を増やさないためにも、引き続き、皆様のご協力をお願いします。

